

令和5年12月22日(金)

皆さんこんにちは。

82日間の2学期も今日で終わりとなります。

まずは、映像をご覧ください。

この映像は、株式会社イズムフーズ（菜々家とかラーメン大志軒を経営している）の社員のみなさんが本校のトイレ清掃を行っている様子です。社長の大高さんは、本校の卒業生です。みなさんの先輩です。このトイレ清掃ボランティアは、社員教育の一環だと話していました。具体的に、なぜ、この取り組みを行っているか大高社長に話を聞きました。

社是として「善いことを徹底的に継続して」というものがある。社員には、体験を通して考えさせるために行っている。大切なことは「人生において嫌なことから逃げない」といこと。たとえば、便器掃除は15分間1つの便器と向かい合うがどんなに頑張っても5分で終わってしまいます。残りの10分間は今まで気づけなかった汚れに気づき、向き合うことになる。人に言われてやるのでは自分を伸ばすことはできない。自分で気づき向き合うことが大切である。社長自ら率先してトイレ掃除を行っている。自分のお店のトイレ掃除も同じようにやっている。心の持ち方で、人との接し方や商品への思いが育てられると考えている、とお話しされていました。

2学期後半になり、本校の清掃状況もよくなってきました。一人一人が清掃への取組む心構えを少し変えただけでわかります。大高社長が求めている人材、それは、素直で真面目な人、人にやさしい人、努力できる人だそうです。ぜひ、みなさんが社会に必要とされる人となるよう、清掃を含めて、学校の様々な行事や部活動、委員会活動を通して成長してほしいと期待しています。

さて、2学期の始業式に思いやりの気持ちをもって学級や学年の仲間と良好な人間関係を築きながら、様々な活動に積極的に取り組んでほしいと話をしました。それを実践した行事が、はじめて実施した縦割り全校運動会、そして桜木祭です。学年を超えた、全校による「挑戦」が見事に形となった行事だったと思います。みなさんのがんばりのお陰で充実したものとなりました。そこには、3年生のリーダーシップがありました。本当にありがとう。

いよいよ、明日から17日間の冬休みとなります。

冬休み中に新しい年を迎えます。1年の計は元旦にあり、と言われる。物事は何事も、はじめが大切であるというたとえです。よいスタート切ってください。特に3年生は人生を左右するとても重要な3学期となります。みなさんにとって令和6年が素晴らしい年となるよう願っています。1月9日全校生が元気に登校することを楽しみにしています。

それでは、よいお年を迎えてください。

郡山第五中学校長 小山健幸